

令和3年度
事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会
指定特定相談支援事業所「ゆから」

1 はじめに

令和3年度「ゆから」の相談支援利用者数は129名。法人関係利用者が114名、町他事業所利用者が14名、在宅者が1名の計画相談を実施してきた。総体の件数は微増の状況であったが、事業所の移動（北海道リハビリテーションセンター）や支援内容の変更（就労Bから生活介護等）によりサービス計画作成の件数が昨年に比べ増えた。福祉サービスの支援方法や目標、利用者保護者のご意向、支援者の意見等についてまとめ、障がい者自身が望む自立した社会生活を営むことができることを目的として、本人に合った適切なサービス利用ができるよう計画相談を実施してきた。

計画相談策定にあたり新型コロナウイルス感染予防の関係で訪問が難しい場面では、電話や文書等での状況確認などにより利用者家族・支援者等との聞き取り情報共有により計画相談業務を行った。また、コロナ禍により前年度に続き各種研究会議（東胆振圏域での相談事業所連絡会や町内相談支援部会議など）について自粛されていたが、リモートで開催された会議へ参加し福祉資源の活用・統計確認・課題の抽出など情報交換を行ってきた。

なお、担当者の相談支援専門の更新に必要な時期(5年経過)に達したため、令和3年度相談支援専門員現任研修を受講し修了している。

2 計画相談作成件数

<利用状況>

ゆから			
	サービス計画(新規・更新)	継続計画(モニタリング)	合計
4月	2件	11件	13件
5月	4件	16件	20件
6月	3件	17件	20件
7月	21件	13件	34件
8月	8件	25件	33件
9月	5件	19件	24件
10月	6件	8件	14件
11月	6件	15件	21件
12月	5件	15件	20件
1月	9件	20件	29件
2月	6件	24件	30件
3月	10件	20件	30件
計	85 (R2. 69)	203 (R2. 213)	288 (R2. 282)

新規・更新：R3・法人内-76件、法人外-9件（R2・法人内-65件、法人外-4件）

継続(モニタリング)：R3・法人内-179件、法人外-24件（R2・法人内-191件、法人外-22件）

<行政機関別件数>

- ・白老町 66名・室蘭市 15名・登別市 15名・苫小牧市 14名
- ・千歳市 2名・江別市 2名・伊達市 1名・函館市 1名・三笠市 1名
- ・浦河町 1名・洞爺湖町 1名 ・札幌市西区 3名・札幌白石区 2名
- ・札幌清田区 2名・札幌北区 1名・札幌東区 1名・札幌南区 1名 （全 129名）

3 事業の実施

利用者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立って、提供される福祉サービス等が特定の種類または特定の福祉サービス事業等を行う者に不当に偏ることのないように行ってきた。自ら提供する指定特定相談支援の評価を行い、必要により改善を図ってきた

新型コロナ感染予防の関係で、計画相談策定にあたり訪問が難しい場面では、電話や文書等での状況確認などにより利用者家族・支援者等との聞き取り情報共有により計画相談業務を行った。

4 スキルアップ及び地域圏域との情報交流

(1) ゆからにおいて担当者の相談支援専門の更新に必要な時期（5年が経過）に達したため、令和3年度相談支援専門員現任研修を受講し修了している。

(2) 新型コロナウイルス感染状況について、胆振圏域障がい者総合支援センター等との連携により情報交流を行った。

(3) 新型コロナ感染症予防の関係で、例年実施されている東胆振圏域指定相談支援事業所連絡協議会並びに東胆振管内住居系事業所連絡会議及び白老町自立支援協議会相談支援部会の実施については自粛され、文書や電話連絡・通信等により福祉資源の活用・統計確認・課題の抽出など情報交換を行った。